

# 令和6年度 東京都北区立滝野川第二小学校経営計画

北区立滝野川第二小学校 校長 堀之内真理子

## 1 めざす学校

本年度、創立115周年を迎える。地域に愛され、その伝統は脈々と受け継がれている。この歴史と伝統を引き継ぎ、地域との絆をより一層深め、教育活動を進めていく。子どもたちが本校に通っていることを誇らしく思い、一体感を高めていけるようにするとともに、保護者・地域の期待と信頼をしっかりと受け止め、よりよい学校づくりに全教職員が一丸となって取り組んでいく。

### (1) 本校の学校目標

- たゆまず学び、くふうする子 (知) …「**確かな学力の育成**」  
→ 学ぶことの楽しさを知り、基礎基本の定着・向上を図りながら、主体的に考え、行動できる子ども
- きまりを守り、協力する子 (徳) …「**豊かな心の醸成**」  
→ 多様な人とのふれ合いを通して、自分を律しつつ、相手を思いやる心を育む子ども
- にこやかに、心も体も元気な子 (体) …「**健やかな体の育成**」  
→ 自他の命を大切にし、心と体の健康をめざして、最後まであきらめずに粘り強く取り組む子ども

### (2) めざす学校像

「夢を未来へ 滝二小」ー子どもの笑顔と希望にあふれる学校ー

- 一人一人の子どもの自己肯定感を高め、よさや可能性を伸ばせる学校
- 家庭、地域と連携・協働する学校
- 教職員が互いに協力し、力を発揮する学校

### (3) 学校力を高めるための経営改革

- 安全・安心な学校づくり：危機管理意識（生命に関する危機、いじめ防止、人権感覚）の向上を図る。
- 教職員の意識改革：教育のプロとしての熱意と使命感をもち、授業力向上を図る。
- 組織改革：協働的かつ柔軟に対応できる組織体制を構築するとともにウェルビーイングの向上を図る。
- 働き方改革：効率的・組織的・実働的に校務に取り組む。育児・介護等と仕事との両立支援を推進する。

## 2 中期的目標と方策

### (1) 中期的目標

- ① **確かな学力の育成**
  - ・基礎・基本を重視した指導の工夫・改善を図り、基礎学力の定着と思考力、判断力、表現力等の向上をめざす。
- ② **豊かな心の醸成**
  - ・「3つのあ」（あいさつ、あつまり、あとしまつ）の指導とともに、生命を尊重し、互いのよさを認め合える心を育む。
- ③ **健やかな体の育成**
  - ・心身ともに健康でたくましい子どもを育てる。また、学校2020レガシーとして国際理解教育（東京国際フランス学園とのスポーツや文化の交流等）の充実を図り、運動・スポーツに親しむ児童を育成する。
- ④ **特色ある教育活動の推進**
  - ・地域とともにある学校づくりを推進する。地域や他校・園との連携を図りながら、安全・安心で社会に開かれた学校を実現する。特別支援教育、金管バンドの活動、NIE（新聞教育）活動等の推進を図り、主体性や協働性を育む。
- ⑤ **働き方改革の推進**
  - ・効率的・組織的・実働的に仕事を進め、限られた勤務時間を最大限に活用して確実に成果を上げる。育児・介護等と仕事との両立を支援する体制を整え、男女ともに働きやすい職場環境をつくる。

### (2) 中期的目標達成のための方策

- ① **確かな学力の育成**
  - ・児童一人一人が「できる」「わかる」「学びが楽しい」授業づくりをめざして、教員の授業力の向上を図る。
  - ・1単位時間（45分間）の授業を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業を展開する。
  - ・一人一台端末「きたコン」の活用を工夫し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図る。（教育DXの推進）
  - ・外部検定の導入による学習への意欲を高めることや、NIE教育、海洋教育の効果的な活用方法を取り入れる。
  - ・東京ベーシックドリルや家庭学習の積み重ね等を通し、基礎学力および基本的な学習習慣の定着を図る。
- ② **豊かな心の育成**
  - ・道徳の授業や読書指導、人権教育をより一層充実させ、自他を大切にする心、思いやりを育む。
  - ・特別支援教育の推進を図る。児童一人一人の発達上の様々な課題に応じて、適切な教育的支援にあたる。
  - ・教育活動全体を通じて人権尊重の精神を涵養する。運動会、展覧会、他校や近隣幼稚園・保育園との交流、異学年交流、各種朝会等の行事・集会等を通して連帯感や達成感、感謝の気持ち、思いやり等を育む。
- ③ **健やかな体の育成**
  - ・体育科学習の充実と改善を図るとともに、体育的活動や休み時間の遊びや運動の質的・量的向上を図る。
  - ・保健指導、食育に力を入れて取り組むとともに、学校保健委員会の充実を図る。
- ④ **特色ある特色ある教育活動の推進**
  - ・金管バンドや環境ボランティア活動等の充実を図り、地域とのつながりや愛着を深め、社会性を育てる。
  - ・地域人材や外部人材等、東京国際フランス学園等、地域の教育力や教育環境を学校教育に活かす。
  - ・隣接保育園やSF中学校、小学校の交流を計画的・継続的に行い、連携を深める。
- ⑥ **働き方改革の推進**
  - ・優先順位の下、ライフ・ワーク・バランスの実現及びキャリア形成の促進と自己実現につなげる。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### ① 確かな学力の育成

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、児童一人一人が「できた」「わかった」と実感できるようにするとともに、自ら問いを見だし、主体的に学べるよう、研究授業(年3回以上)や授業力向上ペアリングシステム、OJT 研修等を実施し、授業力向上のための取組を全教職員で行う。
- ・一人一台端末(きたコン)を活用した授業の質を高め、個別最適な学び及び協働的な学びを実現させる。
- ・週ごとの指導計画を充実させるとともに、一人年3回以上の授業公開等を通して、授業力を高める。
- ・区の学力調査結果の分析を(7月中旬に)行い、授業改善プランを(8月末までに)策定し、実施する。
- ・つまずき解消に向けて、算数少人数指導担当、学力パワーアップ講師、学級経営支援員、理科支援員、交流講師等、より多くの目で児童の学習支援を行い、一人一人の学力に応じたきめ細かい指導をする。
- ・放課後の補習教室として、「学力フォローアップ教室」(3年生以上)及び「スタートアップ教室」(2年生)を実施する。

##### ② 豊かな心の育成

- ・基本的な生活習慣(あいさつ・あつまり・あとしまつ)のさらなる定着を図る。
- ・道徳教育、人権教育を重視し、全教育活動を通して思いやりの心、社会性や規範意識を育てる。『いじめ解決100%』に向け、指導の充実を図る。年3回のふれあい月間やWEBQUを活用し、いじめの未然防止、早期発見に取り組む。
- ・芸術・文化に関する教育活動の充実を図り、感動や喜びを味わう機会を増やし、豊かな感性を涵養する。
- ・特別支援教育を充実させ、特別な支援を要する児童への校内体制の整備と関係機関との連携を深める。

##### ③ 健やかな体の育成

- ・体育授業及び体育的活動(運動会、持久走・なわとび、水泳指導等)を充実させ、体力向上を推進する。
- ・体育朝会の実施と併せて、休み時間の校庭遊びを励行し、運動に親しむ態度と運動習慣を醸成する。
- ・朝ご飯の励行、食事マナー等、食育の推進とともに保健指導の充実を図り、健康な生活習慣を形成する。

##### ④ 特色ある教育活動の推進

- ・金管バンドクラブや環境ボランティア活動等の「特色ある教育活動」の充実により、地域とのつながりを深め、地域を愛する気持ちを育み、社会性を育てる。
- ・朝読書や読み聞かせの推進を図り、読書習慣を身に付けるとともに豊かな情操を育む。
- ・隣接保育園や小学校、滝野川紅葉中学校との交流・連携を深め、小中一貫教育の推進を図る。

##### ⑤ 働き方改革の推進

- ・校務は優先順位の下、効率的・計画的に取り組む。育児・介護等を含め、働きやすい職場環境を整える。

#### (2) 重点目標と方策

##### ◇ 確かな学力の育成

- ・教職員が互いに授業を参観し合い(年2回以上)、高め合うことのできる仕組みを整え、授業力を高める。
- ・体験的、問題解決的な学習を取り入れ、主体的な学びとなるような授業展開を工夫する。
- ・学力フォローアップ教室を週1回1時間実施し(3~6年対象)、参加児童のベーシックドリル診断シート結果の年度末10ポイントアップをめざす。さらに、「スタートアップ教室」(2年生)や家庭学習を充実させ、基礎学力の定着と補充を図る。
- ・NIEを取り入れ、読み取る力、比べて考える力を養う。加えて、外部検定の導入による学習への意欲を高める。

##### ◇ 基本的な生活習慣の定着・美しさを尊び、感性を養う教育の推進

- ・「あいさつ・あつまり・あとしまつ」に全校体制で取り組む。全校朝会・道徳授業・児童会活動等、様々な場面を通して、意義を伝え、実践させる。学校だよりや保護者会等で家庭にも呼びかけ、協力を仰ぐ。
- ・いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に全教員で断固として取り組み、いじめの根絶に努める。
- ・特別支援教育の推進を図るため、関係機関と密に連携を図る。特に児童一人一人の発達上の様々な課題に応じて、適切な教育的支援に学校全体であたっていく。
- ・WEBQUを活用し、誰もが居場所のある学級となるよう、児童の豊かな人間関係を育む。
- ・音楽・図画工作をはじめ、表現活動の充実を図る。美しさや感動を味わうことを通じて豊かな感性を育む。

##### ◇ 体力向上・健康教育の推進

- ・体力テストの結果を生かし、体育科学習や体育的活動において数値目標を設定して活動する等、重点的に体力づくりに取り組み、児童の体力向上を図る。外遊びの励行と縄跳び週間、マラソン週間を実施する。
- ・保健指導・食育の充実等を通して児童の健康増進を図る。保護者・地域の協力の下、健康教育を推進する。

##### ◇ 地域とともにある学校の実現に向けた開かれた学校づくり(特色ある教育活動の推進に向けて)

- ・サブファミリーの研究において、9月に授業提案を本校で行う。滝野川紅葉中サブファミリー校の教員を招いたり、他校の研究授業、研究発表会を参観したりして、小中一貫教育の意識の向上と実践に取り組む。
- ・地域人材を活用した取組、近隣幼稚園や保育園、東京国際フランス学園等と連携した教育活動を展開する。
- ・金管クラブの地域行事等への積極的参加を行う。地域への貢献を通して郷土愛を育てる。
- ・地域清掃活動や国道沿いの花壇の植栽ボランティア活動等、地域貢献に取り組み、つながりを深める。

##### ◇ 働き方改革の推進

- ・校務分掌は、協働的チームで裁量権とやりがいをもって仕事を進める。
- ・生活指導・学習指導・保護者からの相談等、日常的に複数での指導体制を確立し、働き方改革に生かす。
- ・男性職員の育業等の推進等、男女ともに働きやすい職場環境づくりをめざす。
- ・最終退勤時刻(20時)、定時退勤日、年休取得推進プラン70%を設け、周知と遵守を図る。
- ・北区の学校閉庁日と学校閉庁日、祝日等を合わせ、8月に連続12日の閉庁日を設け、リフレッシュにつなげる。

